

実習がソーシャルワーカーの支援の質に与える影響 —中国のX高齢者福祉施設におけるインタビュー調査から—

○ 龍谷大学大学院 氏名 張 白璐 (010495)

キーワード：ソーシャルワーク、支援の質、高齢者施設

1. 研究目的

近年、中国におけるソーシャルワーク（以下、SW）が重視され、多くの分野、特に高齢者分野において重要な位置を占めている。しかし、中国のSWは約30年間中断された歴史によって発展が遅れ、福祉国家との差が拡大した。そのため、本研究は中国のソーシャルワーカー（以下、SWr）の支援の質を高めることに資するために、ある高齢者福祉施設に働くSWrの現状を把握した上で、実習がSWrの支援の質に与える影響を明らかにすることを目的とする。

2. 研究の視点および方法

本研究はSWの視点に基づいている。

本研究の調査方法は、中国のX高齢者福祉施設に所属する有資格・無資格のSWr計9名を対象とし、一人当たり1時間程度の半構造化インタビュー調査を実施したものである。

分析は藤原・新保（2015）、中村（2020）と杜・張・魏（2016）を参考にして、カテゴリー及び概念を生成した。大学の実習で学んだ内容とSW実践との関係があるかどうかという質問に対する対象者からの回答によって、実習に関係があると回答した場合は「実習に関係あるグループ」（5名）、実習に関係がないと回答した場合は「実習に関係ないグループ」（4名）に分け、比較分析法によって質的・帰納的に分析した。

3. 倫理的配慮

本研究を行う時点で龍谷大学研究倫理審査委員会に申請し、承認を得た（2022年8月承認、申請番号：2022-24）。また、インタビューデータの分析および結果の公表に際しては、調査対象者の個人情報の保護に配慮し、例えば、氏名を全てA・B・C等の記号で匿名化して表記した。なお、本研究においては、日本社会福祉学会の「研究倫理規定」および「研究倫理規定にもとづくガイドライン」に則り実施しており、研究に関連する利益相反（COI）は生じない。

4. 研究結果

実習関係別の2グループ対象者による回答の比較を通じて、以下の2点が明らかになっ

た。1点目は、支援後の達成感に関するものである。「実習に関係あるグループ」では、「A、達成感がある。D、達成感がある。E、達成感がある。G、達成感が強い。I、偶にある。」により、小カテゴリー「達成感がある」を生成した。一方、「実習に関係ないグループ」では、「B、達成感があるが、職業倦怠感も感じる。C、達成感がある。F、効果が得なかったと失敗したケースが多かったため、失敗感が多かった。H、SWの視点で高齢者に対して支援を行う場合、達成感はあるが、支援が不十分で失敗感の方が多い。」により小カテゴリー「職業倦怠感がある。失敗感や失敗したケースが多かった」を生成した。

2点目は、SWrが支援を行う際の感情に関わる態度である。「実習に関係あるグループ」では、「D、クライアントの感情表現を認める。E、高齢者の気持ちが理解できる。自分が落ち着いて、高齢者の問題を分析する。G、クライアントの立場に身に置き、傾聴、励まし、支持を与える。高齢者に物事の長所と短所を分析する。I、支援時には冷静である。」により、小カテゴリー「共感が良い」を生成した。「実習に関係ないグループ」では、「B、クライアントの立場に身に置くことがあるが、共感しすぎる。C、私は当事者ではないため、非常に悲しみを感じることはないが、相手の気持ちには共感しているだけ。F、共感は十分だ。H、「私は、よく『共感しすぎる』と言われた。相手と似たような経験があると、専門知識や倫理配慮を考えずに、これは自分の失敗だと感じる。」により、小カテゴリー「共感に過不足がある」を生成した。

5. 考察

本研究では、大学の実習で学んだ内容とSW実践との関係がないと回答したSWrは、支援後に達成感よりも職業倦怠感や失敗感を多く感じる傾向があり、また、過剰共感や共感不足といった特徴が導き出された。

「実習に関係ないグループ」のSWrは、初心者だけでなく、経験者やスーパーバイザーの方もいる。よって、これらの特徴の原因は実務経験を重ねたことではないと考えられる。従って、この点からも本調査結果に示すように、大学での実習内容が支援の質に影響を与えていると推測される。

また、バイステックの7原則に基づけば、SWrが支援時に共感が不足していたり、過度であったりする場合、支援の質に影響を及ぼす可能性があると考えられる。そのため、実習を重視しない場合、クライアントに対して質の高い支援を行うことは困難であると推測される。

本調査は9名のSWrを対象とした質的研究であり、中国全体の傾向を示すものではなく、X施設の特徴が反映されている可能性がある。そのため、本研究の結論を検証するため、今後、量的調査で検証したい。